

ごあいさつ



北三株式会社  
代表取締役 尾山信一

北三は2024年5月12日に創業100周年を迎えました。

振り返りますと、まさに山あり谷ありの100年でしたが、お取引先や社員の皆さまに助けられ、今日を迎えることができました。この機会をお借りして、これまでお世話になりましたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

さて1924年の創業当時、ツキ板は家具製造の一工程にすぎませんでしたが、その後の技術の進歩と共に厚みも薄く切削できるようになり、また国産材から始まった材種も、生活様式の西洋化が広がるのにつれて、どんな木でも面白い柄があれば使って頂けるようになり、海外での新材開発にも力を入れてきました。1970年代には南米での原木輸出禁止の動きに対応し、ブラジルとボリビアにはツキ板工場を建設しました。

家具の表面材として始まったツキ板ですが、現在では様々な基材に貼られ、暮らしの中に癒しをもたらしてくれる素材として広く使われています。

創業者の尾山金松は下駄の材料を求めて入った雪解けの北海道の山で偶然出会ったタモの杢目の美しさに感動し、この時の思いが北三の創業に繋がりました。これからも北三は木目の美しさを通して皆さまに感動をお届けできるよう努力を続けて参ります。

今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。